

令和3年度第1回桑名市上下水道事業経営審議会
【令和3年8月26日】

水道料金の改定について

1. 桑名市上下水道事業経営戦略（2019年3月）
2. 水道事業の現状
3. 今後の事業実施方針
4. 水道料金改定時期の検討
5. 今後の手続きの流れ

桑名市上下水道部

水道料金の改定について

1. 桑名市上下水道事業経営戦略（2019年3月）

（1）計画期間

令和元年度（2019年度）から令和10年度（2028年度）

（2）水道事業における財源に関する目標

■ 経常収支比率：100%以上

■ 累積欠損金比率：0%

■ 債務償還年数：30年以下

■ 料金回収率：100%以上

（3）水道料金改定の方針

令和3年度（2021年度）：現行水準比2.4億円増（料金改定率：10%）

令和7年度（2025年度）：現行水準比2.4億円増（料金改定率：9%）

（4）新型コロナウイルス感染症拡大の影響

桑名市上下水道事業経営審議会の答申を受け、令和3年度（2021年度）料金改定の延期を決定

（5）水道料金改定の検討

できるだけ早い段階で経営戦略で設定されている改定率10%の水道料金改定の実施を検討

水道料金の改定について

2. 水道事業の現状

(1) 施設・管路の老朽化

老朽化が進む主な施設（経過年数）

浄水場	上野浄水場（51年）	古野浄水場（38年）	美鹿浄水場（35年）
配水場	西方配水場（52年）	大山田配水場（44年）	大山田東配水場（33年）
	七和配水場（52年）	桑名北部配水場（52年）	桑名南部配水場（40年）
	赤尾配水場（30年）	多度北部配水場（37年）	多度南部配水場（37年）
送水場	多度北部送水場（37年）	多度北部第2送水場（36年）	多度中部送水場（37年）
水源地	町屋水源地（52年）	西部水源地（52年）	西部5号井（56年）
	多度1・2号井（57年）	多度4号井（36年）	多度6号井（37年）

※経過年数は施設設置または施設拡張からの経過年数

管路（法定耐用年数40年以上経過）

管路	総延長	管路経年化率	管路経年化率 （類似団体）
	約1,031km	32.54%	18.26%

水道料金の改定について

(2) 水需要の減少

水道事業は有収水量が事業収入の基礎となっており、その増減は事業運営に大きく影響を与えます。近年は、給水人口の減少や市民生活のエコ志向や節水機器の普及等により年々減少傾向にあり、それに伴い料金収入も減少すると予測しています。

今後の給水人口の見通し

(単位：人)

給水人口	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
	141, 681	141, 025	140, 765	140, 505	140, 245	139, 985	139, 731	138, 846

* R 1 年は実績、R 2 年は暫定、R 3 年以降は経営戦略の増減率で算定

有収水量の見通し

(単位：m³)

有収水量	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
	16, 804, 005	16, 760, 718	16, 729, 853	16, 698, 988	16, 668, 123	16, 637, 258	16, 607, 108	16, 501, 882

* R 1 年は実績、R 2 年は暫定、R 3 年以降は上記給水人口の増減率で算定

水道料金の改定について

(3) 今後の料金収入の見通し

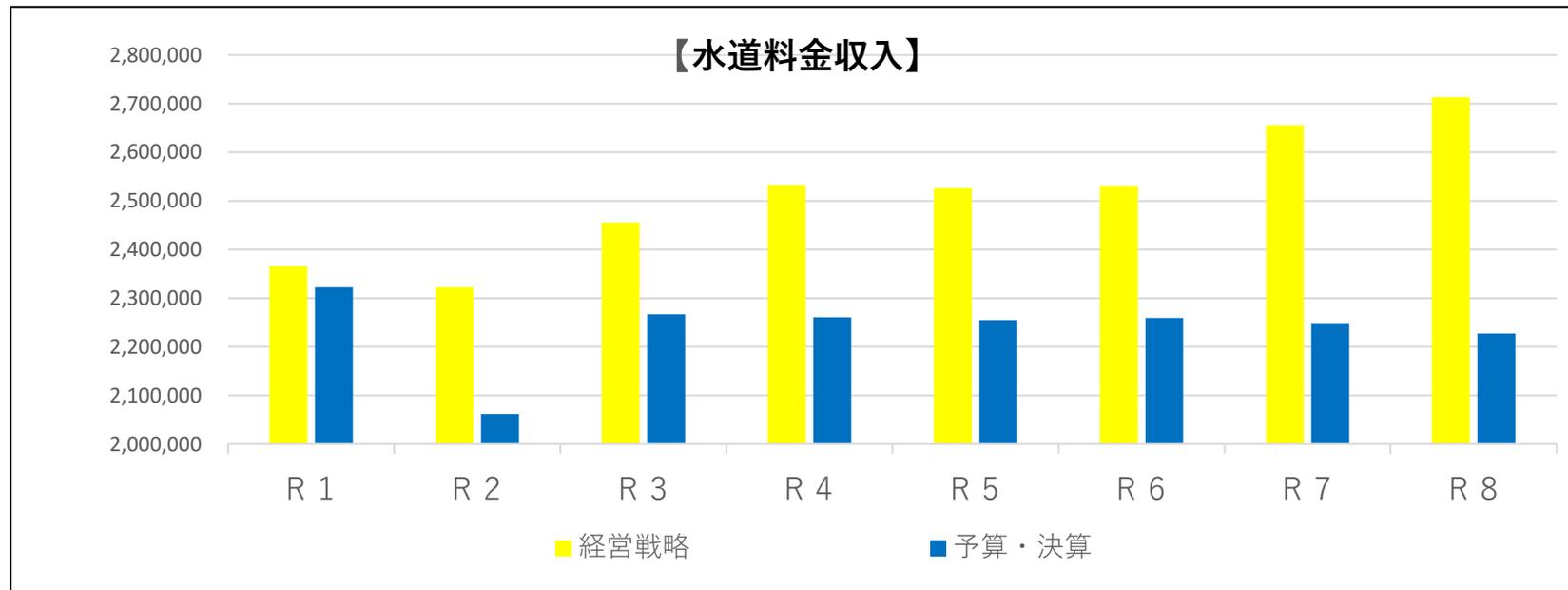
(単位：千円)

水道料金収入	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
経営戦略	2,365,495	2,322,108	2,455,722	2,532,999	2,526,540	2,531,197	2,656,368	2,713,479
予算・決算	2,322,202	2,061,717	2,266,761	2,260,991	2,255,155	2,259,680	2,248,556	2,227,283

* 経営戦略では、R 3年7月、R 7年7月の料金改定を折込

* R 2年は新型コロナウイルス感染症対策として基本料金の減免を行っている（別途一般会計から補填）

* R 1年は決算、R 2年は暫定、R 4年以降の予算はR3年度を基準として料金改定なしで試算



水道料金の改定について

3. 今後の事業実施方針

(1) 投資計画

①施設整備の方針

竣工から50年以上経過している上野浄水場を始めとする老朽化施設の更新、重要な水源である南部水源地の大規模更新を進めて行く。

②継続した老朽管対策（基幹管路・配水管路）

南海トラフ地震が今後30年の間に70～80%の確率で起こると言われている中で、管路の更新率をあらゆる方策を検討しながら高めていく。

(2) 財政計画

①資金残高の確保

大規模災害等、不測の事態に備えるとともに、今後の大型投資に対応するため、預金の一定金額を確保していく。

②維持経費の抑制

民間活力の導入や資産の有効活用などを検討しながら経費の削減について見直しを行っていく。

③桑名市上下水道事業経営戦略の見直し

令和元年度から令和10年度の10年間の経営戦略であるが、これまでの実績と計画についての検証を行い、新規事業の追加を含めた投資・財政計画の見直しを検討していく。

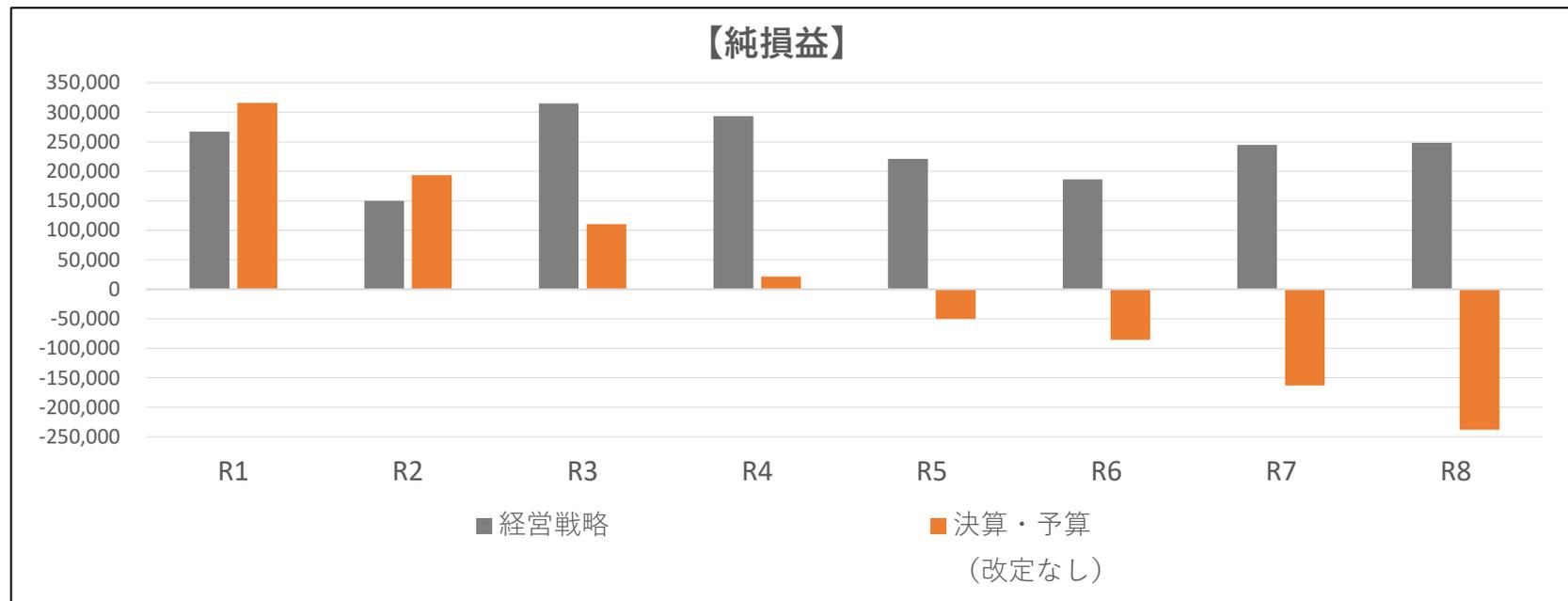
水道料金の改定について

4. 水道料金改定時期の検討

○純損益の推移

【純損益】 決算← 決算見込 予算 →予算見込 (単位：千円)

	決算←	決算見込	予算	→予算見込				
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
経営戦略	267,229	149,924	315,103	293,340	221,054	185,989	244,607	247,989
決算・予算 (改定なし)	316,094	193,234	110,504	21,332	▲ 50,331	▲ 85,528	▲ 163,205	▲ 238,208



水道料金の改定について

5. 今後の手続きの流れ

